

各位

2025 年 10 月 2 日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
(コード：7318 東証グロース)
エクセル株式会社

グループ全体で CO2 フリーを推進、エクセル群馬事業所が再エネ 100%に

～脱炭素社会の実現に向けた更なる推進～

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO 竹内 在 以下、当社）のグループ会社であるエクセル株式会社（代表取締役社長 高橋 直輝 以下、エクセル）は、国内生産工場である群馬事業所（群馬県桐生市）において、2025 年 10 月より使用電力を 100%実質再生可能エネルギー電力（CO2 フリー）に切り替えいたしました。（供給元：スマートエコエナジー株式会社）

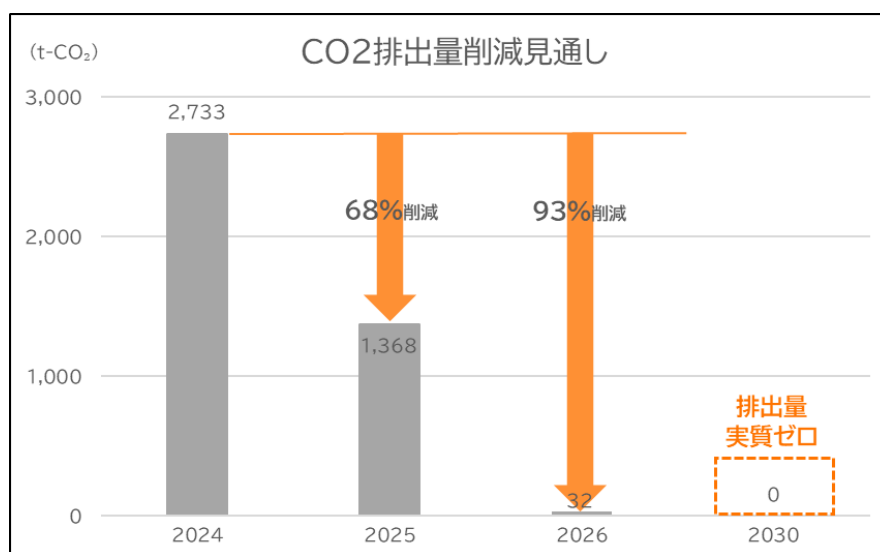
当社グループは、気候変動対応を重点課題と位置づけ、事業領域に即したリスクと機会を分析しつつ、グループ各社の強みを活かした脱炭素への取り組みを推進しています。すでに、当社グループ会社である三井屋工場では 2025 年 1 月に 100%実質再生可能エネルギー電力（CO2 フリー）への全面切り替えを完了しており、今回の群馬事業所での実現により、グループ全体での環境負荷低減を一層加速させます。

▼関連記事はこちら

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/7318/tdnet/2550149/00.pdf>

■エクセルの主な成果

- ・ 群馬事業所の年間使用電力量 約 646 万 kWh をすべて実質再生可能エネルギーに切り替え
- ・ 年間 2,731t の CO₂排出削減効果（杉の木約 26 万本が 1 年間に吸収する量に相当）（注 1）
- ・ これにより、政府が掲げる「2030 年までに国内拠点の CO₂排出量 50%削減」という目標に対し、90%削減を見込める水準に到達



当社グループは引き続き、再生可能エネルギーの導入や生産工程の改善を通じ、事業成長と環境負荷低減を両立させ、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

参考：

注1) 林野庁「森林はどのくらいの量の二酸化炭素を吸収しているの？

(https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/20141113_topics2_2.html)

■会社概要

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本 社 愛知県名古屋市中区錦一丁目5番 11 号

設 立 2006 年 8 月

代表者 代表取締役社長兼 CEO 竹内 在

URL <https://www.serendip-c.com/>

事業内容 経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

エクセル業株式会社

事業所 東京都中央区京橋 2 丁目 10 番 2 号 め利彦ビル 7 階

設 立 1970 年 4 月

代表者 代表取締役社長 高橋 直輝

URL <https://www.3d-excell.com/jp/>

事業内容 自動車関連部品の開発、製造、及び販売

以上

【本件に関するお問合せ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社

IR 広報担当

E-mail: pr@serendip-c.com